vinetur

貿易摩擦で米国産ワイン輸出が37％減、4億6,000万ドルの収益が消失

米国の関税を受けたカナダ各州の販売禁止措置が最大の海外市場を直撃し、短期的な回復への期待は乏しい

2026年11月9日（月）



米国産ワインの輸出は1月までの12カ月間に大きく落ち込んだ。米国国際貿易委員会のデータに基づく農業調査機関Terrainの報告書によると、カナダや中国との貿易摩擦が海外販売を大きく押し下げ、米国の生産者は4億6,000万ドルの収益を失った。

報告書によると、この期間の輸出量は22％減、輸出額は37％減となった。最大の打撃を受けたのは、米国産ワインの最大の海外購入国であるカナダだ。2025年2月、米国の関税と主権を脅かす発言への対抗措置として、カナダ各州が米国産アルコールの販売を禁止、または制限した後、米国からの出荷は急減したという。

Terrainによると、1月までの12カ月間にカナダ向け輸出は金額ベースで84％、数量ベースで75％減

少した。2024年に輸出額で米国産ワインの第3位の市場だった中国向け販売も大幅に落ち込んだ。同じ12カ月間に、中国向け輸出は金額で73%、数量で58%減ったという。

今回の減少は、過去10年の大半にわたって続いていた米国産ワイン輸出の長期的な低迷に拍車をかけている。Terrainによると、直近の関税をめぐる対立が起きる前から、業界の構造的な要因で輸出は弱含んでいたが、2025年2月にトランプ政権が導入した措置と、各国の報復措置によって落ち込みは一段と深刻化した。

それでも報告書によると、関税をめぐる対立が始まってから最初の1年間、カナダと中国以外での影響は比較的限られていた。この2市場を除くと、1月までの12カ月間の米国産ワイン輸出は金額、数量ともに2%減だった。Terrainは、日本と韓国向けの販売増が損失の一部を補ったと指摘した。貿易摩擦が起きる前、日本と韓国は米国産ワインの海外市場として、金額ベースでそれぞれ第4位、第5位だった。

減少のペースは年後半に鈍化したが、低い水準からの動きだった。報告書によると、7月までの6カ月間の米国産ワイン輸出は、前年同期比で金額が10%、数量が12%減少した。この期間の最後の3カ月間では、前年同期比で金額が2%、数量が10%減った。

Terrainによると、こうした改善の多くは、世界的な需要が幅広く回復したというより、カナダ向け出荷が安定したことを反映している。7月までの6カ月間のカナダ向け輸出は、前年同期比で金額が1%、数量が14%減少した。ただし、州による規制ですでに取引が急減していた2025年の異例に低い水準との比較だった。

7月までの3カ月間では、カナダ向け輸出の短期的な反発がより顕著だった。Terrainによると、前年同期比で金額は377%、数量は36%増加した。しかし報告書は、こうした増加が低迷の底との比較である点を強調した。2024年の同じ3カ月間と比べると、カナダ向け輸出は金額で80%、数量で71%少ないままだった。

カナダ向けの悪化ペースが鈍る一方で、報告書によると、2026年にはカナダ以外への米国産ワイン輸出がさらに落ち込んだ。7月までの6カ月間のカナダ以外向け輸出は、2025年の同じ期間と比べて金額が11%、数量が12%減少した。Terrainは、この悪化について、米国の通商政策に対する政治的な反発と、イラン紛争に関連するエネルギー供給の混乱に伴う広範な経済的圧迫が重なったためだと説明した。

Terrainのワイン・ブドウ担当シニアアナリスト、Chris Bitter氏は、カナダとの貿易紛争は緩和しておらず、さらに深刻化する可能性もあるため、輸出業者の短期的な見通しは引き続き厳しいと述べた。米国は幅広いカナダ製品に対する新たな関税の発効日を2026年9月29日に設定した。カナダもさまざまな米国製品に関税を課しているが、この報復措置の対象にワインは含まれていなかった。

米国産ワインの大半の出荷に対してカナダが新たな関税を直接課していないとしても、Terrainによると、米国産アルコールに対する州の規制が近く解除される可能性は低い。2025年6月に禁止措置を解除したアルバータ州とサスカチュワン州を除き、カナダ全土で全面または一部の販売禁止が続いている。サスカチュワン州はその後、9月8日から米国産ワインに50%の関税を課したが、報告書によると、同州がカナダのワイン販売に占める割合は小さい。

報告書によると、かつて米国産ワイン輸出にとって最も重要な仕向け先だったカナダ市場は、今後も当面、以前の水準を大きく下回る可能性が高い。Terrainは、他の主要輸出市場の見通しもそれほど明るくないと指摘した。根強いインフレ圧力、世界経済の成長の鈍化、消費支出への継続的な圧迫を理由に、米国産を含む輸入ワインの需要は低迷する可能性があるとしている。

米国のワイナリーやブドウ栽培農家にとって、輸出の低迷は貿易統計上の数字にとどまらない。海外市場は多くの生産者にとって重要な販売先であり、輸出の減少はサプライチェーン全体の需要を押し下げる。Bitter氏は、貿易摩擦が緩和した後に輸出がいずれ失った分を一部取り戻すとしても、短期的には輸出市場が販売やブドウ需要を大きく押し上げるとは期待すべきでないと述べた。